

DV や児童虐待などの相談窓口 女性・子ども支援センターの設置を提言

2月10日、女性・子育て支援政策検討協議会の代表者が、女性や子どもに関する相談体制や支援体制などの検討結果を提言書として市長に提出しました。

提言書には、専任職員や社会福祉士、精神保健福祉士などの専門職員の配置、学校や関係機関との連携、地域で見守りができるようなネットワークづくりなどの核となる女性・子ども支援センターの設置などが盛り込まれています。



協議会の代表者から市長に提言書が提出されました

地域福祉の向上に貢献 熊本県社会福祉功労者表彰

2月3日、県庁で熊本県社会福祉功労者表彰が行われ、市社会福祉協議会事務局長の成瀬裕二さん（黒石）が受賞しました。

成瀬さんは、25年間にわたり同協議会に勤務。現在は市保健福祉センターふれあい館を活動拠点として各種福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援など、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活できるよう地域福祉の向上に取り組んでいます。



表彰された成瀬さん

熊本県農業コンクール大会 新人王部門で秀賞受賞

1月29日、熊本テルサで第55回熊本県農業コンクール大会が開催され、スイカ農家の三山容弘さん（本村）が新人王部門で秀賞を受賞しました。

新人王部門は、経営・生産技術の改善に意欲的に取り組み地域の振興発展に寄与する優秀な農業者などを表彰するものです。三山さんは、スイカの生産技術と経営分析やIT活用による高い生産力とコスト抑制などが評価され、今回の受賞となりました。



秀賞を受賞した三山さん（右）

振り込め詐欺に注意 詐欺被害防止で感謝状

1月29日、振り込め詐欺の被害を防止したとして、大津警察署長から熊本銀行菊南支店の行員、古閑祥子さんに感謝状が贈られました。これは、同月中旬、本市に住む高齢者の高額な振り込みを不審に思った古閑さんが、警察に通報し事件を未然に防いだ功労が認められたものです。

市内でも、特殊詐欺被害が増えています。「私は大丈夫」と考えず、必ず周りの人や警察に相談しましょう。



感謝状を贈られた古閑さん（中央）

マンガ・アニメ・ゲーム・映画制作で市を盛り上げよう 合志市コンテンツ産業シンポジウムを開催

2月7日、御代志市民センターで市コンテンツ産業シンポジウムを開催しました。これは、都市部に集中するコンテンツ産業（映像・音楽・ゲーム・書籍などの制作・流通を担う産業）を、将来的に地方に誘致するきっかけづくりとして行なったものです。

第1部では、テレビで見かける数多くのCMや映画を手掛ける株式会社ロボットの加藤雅章さんが講演。「映像の新しいコミュニケーション」をテーマに、映像を交えながら映画制作への思いや裏話を語りました。

第2部では本市出身のマンガ家、中川沙樹さんのゲストトークが行なわれ、本市で過ごした幼少期から現在に至るまでや、漫画家の仕事についてインタビュー。後半のパネルディスカッションではマンガ・アニメ関連の各分野で活躍するパネリストを招き、本市への企業誘致や地方でのビジネス展開の可能性と、若者を対象とした人材育成について活発な討議が行なわれました。



1.加藤雅章さん 2.5.さまざまな意見が飛び出したパネルディスカッション 3.4.迫力ある映像とパネラーの話に引きつけられる客席 6.中川沙樹さん

すずかけ台地域交流の拠点 居場所づくりの家「よんなっせ」が開所

2月1日、すずかけ台で、居場所づくりの家「よんなっせ」の開所式が行なわれました。これは、市まちづくり事業提案制度で事業認定を受けた「ぽっかぽかすずかけ」（佐藤昭男代表）が、空き家を活用して地域住民による高齢者・子ども・障がい者などの生活支援事業の活動拠点として開所したものです。気軽に立ち寄ってもらい、孤立防止や介護予防を目的とするほか、スタッフとして活動する高齢者の居場所づくりにも活用されます。

現在、ぽっかぽかすずかけには利用会員65人、協力会員35人が登録しており、開所式には約80人が参加しました。会員として夫婦で利用している吉住和子さん（72）は「近くに出来て嬉しい。これまでは月1回お出かけの行事に参加していたが、これからは今以上に参加したい」と笑顔で話してくれました。

広報2月号9ページ「まちづくり事業認定」の記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。
【誤】 ふら〜っときなっせ
【正】 よんなっせ



上) 健康体操で楽しく介護予防
左) 交流会で仲間づくり
下) よんなっせを運営するぽっかぽかすずかけの皆さん

